

黒部を未来へつなぐ



<ご挨拶>

どんな人でも生きやすい これからの「黒部」を追求しています。



市議会議員になって7年が経過しました。

多くの方の支えがあって活動が出来ていると思っています。あらためて感謝いたします。

さて、私たちの暮らしが新型コロナウイルスによって大きく変化いたしました。この変化にどう対応していくのか。誰でも幸せを感じる事が出来る社会にするのはどうすれば良いのか。未来に希望を見つけて、平凡な生活の中にほんのちょっとだけでも笑顔になれる日本一幸せのまち（**ウェルビーイングシティ**）を目指して活動していきます。今後ともよろしくお願いします。

黒部を未来へつなぐ
成川まさゆき

まさゆき KENBUNROKU MANABINOJIKAN 見聞録「学びの時間」



R3年4月10日(土)
炊き出し活動
ホームレス、生活困窮者を支援



R3年7月1日(木)
フードバンク活動
余った食料を施設へ



R3年10月15,16日(金・土)
地方創生実践塾 in 小布施
協働と交流を学びました



R3年9月26日(日)
CAP スペシャリスト認定取得
子どもへの虐待・いじめ防止について学び



R3年10月4日(月)
射水市子育てサークル
県外出身ママの会を視察

~学び~

コロナ禍により、オンラインが多くなりました。
参加している主な勉強会を紹介します。

- ・「行政の羅針盤」地方議員応援塾
- ・地方制度研究会・地方創生カレッジ

CAPとは・・・
「子どもへの暴力防止プログラム」
7月に3日間、9月に2日間の
講座を受けて取得



6月定例会 一般質問

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で市民の命と暮らしが脅かされている。市民の悩みを少しでも軽減できる体制を整えて、「どんな人でも安心して生活してください」と言えるまちにするため、本市の取り組みを問う。

質問項目 ①市民の命と暮らしを守る取り組みについて

Q 支援が必要とする市民に情報がしっかり届くようにしてほしい。



市民福祉部長

A ホームページ市広報等の活用を図り、相談支援機関や支援制度を広く周知できるよう情報提供の充実に努める。

Q ネット利用に関して教員対象のリテラシー教育、情報モラル教育の現状と対策はどうか。



教育部長

A ネット利用ルールについて継続的に指導していくほか、外部講師を招聘し、児童生徒や保護者が一緒になってルール注意事項等について周知できるよう取り組んでいく。

Q 国の制度の支援を受けられないDV被害者や虐待被害者を助ける支援体制が必要ではないか。



教育部長

A 総合的な相談支援体制が構築されることか何より重要である。

Q ケートキーパー養成に子カを入れてほしい。



市民福祉部長

A 養成講座受講者の対象拡充に努める。

Q 市民が手に取りやすいように「生活保護のしおり」「生活保護申請書」を庁舎1階のホールに設置してほしい。



市民福祉部長

A 福祉課窓口や庁舎1階にあるチラシ等を入れているラックに設置する。「生活保護申請書」は、従来とおり配布したい。

Q 急変する生活に対応するために奨学金奨学生の募集期間を年度期間内など延長出来ないか。



教育部長

A 真に必要としている方がより申請しやすくなるよう、年度当初の申請期間の見直し等を含め、改善に向けて検討する。

6月議会を終えて

「生きていて良かった。」「この地で生まれてよかった。」「暮らして良かった。」
そう思ってもらえる黒部市であって欲しいと願っています。誰ひとり取り残すことなく、
コロナが収束した際には、全市民でお祝い出来るように取り組んでいきます。



皆様のご意見をお気軽に是非、お寄せください

後援会
連絡先

成川正幸（なりかわ まさゆき） TEL (0765)57-1189
黒部市植木 107-7 FAX(0765)57-1189
携帯 090-1317-7155 Mail : masa.narikawa@gmail.com



9月定例会 一般質問

苦しく辛い事を少しでも無くする。あつたとしても、対応できた体験をすることで、たくさんの友達であふれる黒部市になって欲しいと願い、質問をした。

質問項目 ①いじめ根絶に向けて

各学校の「いじめ防止基本方針」は、誰に向けたものなのか。また共有方法はどうか。



教育長

家庭や地域。しかし、各学校によって差異があるため今後、公聴会等で協議していきたい。

A

CAP (子どもへの暴力防止プログラム) を小中学校で実施してはどうか。



教育部長

先駆的な取り組みに係る成果や課題等についての情報収集を行っていききたい。

A

どんな人でも住みやすい地域となる為にも、くろべ男女参画プランに性の多様性の記述を入れてほしい。



総務管理部長

社会情勢に対応した計画となるよう見直しを図りたい。

A

本市の協働に対する考え方を聴くと共に自分事と考えるようにするための取り組みを提案した。

質問事項 ②協働のまちづくりについて

市の情報をスマートフォンで簡単に知る事が出来るアプリを導入してはどうか。



総務管理部長

必要性があると考えている。調査・検討をする。

A

「関係人口」を増やすために、黒部市応援団「黒部ファンクラブ」を結成してはどうか。



黒部市長

企業や各種団体を含めた市民との連携、意見聴取から始めたい。

A

9月議会を終えて

未来を担う子ども達にも、希望に満ちた地域であって欲しいと思っています。だからこそ私たちは、黒部市の子ども達みんなが笑顔でいられるように、そして、その子ども達が未来を自分たちで創り出すことができる大人になれるように取り組まなければいけないと考えます。理想のまちは皆で考え作り上げなければ出来ません。誇りに思えるまち、子ども達が大人になっても住んでもらえるまちを作るのが **今を生きる私たち大人です。** 質問をしてあらためて思いました。



ひとりで悩まず話してみよう！悩み相談チャート



悩み事

子ども達にも悩み事が、たくさんあります。ひとりで悩まず、誰かに話してみる事で心が楽になるかもしれません。

- 友達に相談 → 少し話を聞いてもらうとホッとする友達。
- 家族に相談 → お父さんやお母さんだけではなく兄弟や祖父母にも伝えよう。
- 先生に相談 → 担任の先生以外にも学校にはたくさん先生の先生がいます。話しやすい先生に伝えよう。
- 先生以外に相談 → 学校には、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーがいます。
- 学校以外に相談 → 地域の人に相談してみよう。見守って暮れている人がたくさんいます。
- 電話で相談 → たくさんの相談窓口があります。

- 【富山県総合教育センター】**
教育相談事務所 (076) 444-6167
24時間いじめ相談電話 (076) 444-6320
24時間子ども SOS ダイヤル 0120-0-78310
- 【富山県教育委員会】**
富山県東部教育事務所 (076) 441-3882
生涯学習・文化財室(子どもほっとライン) (076) 443-0001
- 【富山児童相談所】**
子育てテレフォン相談 (076) 422-5110
- 【富山県厚生部】**
家庭児童相談室 富山県新川厚生センター 52-1233
子ども・若者総合相談センター (076) 411-9003
- 【法務局】**
子どもの人権 110 番 0120-007-110
- 【黒部市】**
黒部市教育センター 65-0029
- 【民間】**
チャイルドライン 0120-99-7777

◆みんなが「生きやすい」をサポートしてくれる黒部市の連絡先・相談窓口◆



- 【黒部市インターネット相談窓口】**
黒部市インターネット相談窓口で検索
- 【黒部市 福祉課】**
ひきこもり相談窓口 54-2111
- 【富山県新川厚生センター】**
ひきこもり等家族相談会 52-2647
- 【消費生活相談】**
黒部市消費生活センター 54-3198
消費者ホットライン 188
- 【高齢者相談】**
黒部市地域包括支援センター 54-5002
黒部市東部地域包括支援センター 65-1165
- 【黒部社協 総合相談センター】**
黒部市社会福祉協議会 54-4141

議会後、変わりました！！

黒部市役所庁舎一階7フロア
生活保護に関するチラシが常設！



終わりに・・・

今回から紙面を大幅刷新いたしました。新しくするのは難しく、ようやく変える事が出来ました。ただ、これで良いとは思っていません。もっとこうした方が見やすいよというのがあれば、これからも変えていきます。これは私たちの暮らし全般に言えることで、何でも変化させるという事はかなりのエネルギーが必要です。時代が大きく変化している今、パトンを次の世代に渡すためには、変わる勇気が必要だと思いませんか。



なりかわ 黒部を未来へつなぐ 黒部市議会議員
成川まさゆき facebook で 活動公開中！

なりかわ 成川まさゆき後援会
〒938-0014 富山県黒部市榎木 107-7
TEL & FAX (0765) 57-1189
Mail/masa.narikawa@gmail.com